

公式通知 No.3-1/4

KV-40 宛

競技手順について

■ 1st ATTACK

- ①スタート前の整列に向けて、各ピット内で車両整備を行う。
- ②走行スタート順は、整列順となる。指定のピット裏動作チェックエリアに移動し、トラブルなく車両が動くことを確認する。その後、準備の完了したチームより出走に向け整列する。
順次コントロールタワー前のスタート位置からオフィシャルの合図(日章旗)により、国際レーシングコース フルコース 1 周のアタックを開始する。
- ③各チーム約 15 秒～20 秒間隔(状況により変動あり)でアタックを開始する。
1st ATTACK 最終スタート時刻 **10 時 00 分**に間に合うよう車両を準備し、スタート位置に整列する。
- ④フルコースを周回した後ホームストレートに戻り、コントロールライン(タイム計測ライン)でオフィシャルによりチェッカーを受けた時点で完走となる。その後、リーダータワー横よりオフィシャルの誘導に従ってピットレーンをスタート位置方面へ逆走し、PIT49,50 前付近にて駆動用電源・サーキットブレーカを取り外し、PIT51,52 にて預ける。
なお、駆動用電源・サーキットブレーカは自ピットへ持ち帰ることはできない。
- ⑤競技中、車両を完全に停止したうえで、充電側ブレーカの復帰作業を行うことができる。その際、電池の温度や固定の状態を確認しながら作業すること。また、安全であることを確認した上でブレーカのカバーを操作すること。
- ⑥コース上で STOP した車両に対し、コースオフィシャルが走行距離認定を行う。走行距離認定を受けたドライバーは、車両をコース外へ移動させ、安全な場所に退避すること。1st ATTACK において、走行距離認定を受けたチームは未完走とみなされ、それ以降のアタックについては、嘆願書提出を条件に出走することが認められるが、順位賞典対象外となる。
- ⑦1st ATTACK の競技時間は **65 分間**。最終スタート時刻 10 時 00 分から 30 分後の **10 時 30 分**に競技終了となり、各監視ポストにて赤旗+赤ライトパネルが表示される。この時点で完走できなかったチームは、ただちにその場に車両を停車させ、走行距離認定を受けなければならない。
- ⑧1st ATTACK 完走チームは、駆動用電源・サーキットブレーカの保管を行うため、1st ATTACK 終了後、速やかに駆動用電源・サーキットブレーカを PIT51,52 へ持ち込まなければならない。
- ⑨1st ATTACK で完走できなかったチームは、1st ATTACK 終了後 **30 分以内**に大会事務局(ピットビル 2 階)へ 2nd ATTACK 出走嘆願書を提出することにより、2nd ATTACK への出走が認められる。その場合、駆動用電源・サーキットブレーカ保管は除外され、充電が認められるが、それ以降順位賞典対象外の参加となる。

■ 2nd ATTACK

- ① 1st ATTACK 終了後に預けた駆動用電源とサーキットブレーカの返却及びスタート前チェックを行う。
場所：PIT51,52 返却・スタート前チェック時間：**11時45分～12時35分**
- ② **1st ATTACK の成績上位チームから順に出走**となる。1st ATTACK の結果表をよく確認した上で、順次コントロールタワー前のスタート位置から 1st ATTACK と同様の合図により、国際レーシングコースフルコース 1 周のアタックを開始する。
なお、2nd ATTACK 出走嘆願書提出チームは、1st ATTACK 成績最下位チームが出走した後、整列順にてコースインが可能となる。
- ③ 各チーム約 15 秒～20 秒間隔(状況により変動あり)でアタックを開始する。車両トラブル等の止むを得ない理由により、自チームの出走順に間に合わない場合は、最後尾(出走嘆願書提出チーム同様)のスタートとなる。2nd ATTACK 最終スタート時刻の **12時40分までに**間に合うよう車両を準備し、スタート位置に整列する。
- ④ フルコースを周回した後ホームストレートに戻り、コントロールライン(タイム計測ライン)でオフィシャルによりチェッカーを受けた時点で完走となる。その後、リーダータワー横よりオフィシャルの誘導に従ってピットレーンをスタート位置方面へ逆走し、**PIT49,50 前付近にて駆動用電源・サーキットブレーカを取り外し、PIT51,52 にて預ける。**
なお、駆動用電源・サーキットブレーカは自ピットへ持ち帰ることはできない。
- ⑤ 競技中、車両を完全に停止したうえで、充電側ブレーカの復帰作業を行うことができる。その際、電池の温度や固定の状態を確認しながら作業すること。また、安全であることを確認した上でブレーカのカバーを操作すること。
- ⑥ コース上で STOP した車両に対し、コースオフィシャルが走行距離認定を行う。走行距離認定を受けたドライバーは、車両をコース外へ移動させ、安全な場所に退避すること。2nd ATTACK において、走行距離認定を受けたチームは未完走とみなされ、3rd ATTACK の出走は**順位賞典対象外**となる。
- ⑦ 2nd ATTACK の競技時間は **65 分間**。最終スタート時刻 **12時40分から 30 分後の 13時10分**に競技終了となり、**各監視ポストにて赤旗+赤ライトパネルが表示される。**この時点で完走できなかったチームは、ただちにその場に車両を停車させ、走行距離認定を受けなければならない。
- ⑧ 2nd ATTACK 完走チームは、駆動用電源・サーキットブレーカの保管を行うため、終了後速やかに駆動用電源・サーキットブレーカを **PIT51,52**へ持ち込まなければならない。
- ⑨ 2nd ATTACK 未完走チームは、2nd ATTACK 終了後 **30 分以内**に大会事務局(ピットビル 2 階)へ 3rd ATTACK 出走嘆願書を提出することにより、3rd ATTACK への出走が認められる。ただし、その場合、駆動用電源・サーキットブレーカ保管は除外され、充電が認められるが、それ以降**順位賞典外対象外の参加**となる。

■ 3rd ATTACK

- ① 2nd ATTACK 終了後に預けた駆動用電源とサーキットブレーカの返却及びスタート前チェックを行う。
場所：PIT51,52 返却・スタート前チェック時間：**14時30分～15時15分**
- ② **2nd ATTACK の成績上位チームから順に出走**となる。2nd ATTACK の結果表をよく確認した上で、順次コントロールタワー前のスタート位置から、これまでと同様の合図で国際レーシングコース フルコース 1周のアタックを開始する。
なお、3rd ATTACK 出走嘆願書提出チームは、2nd ATTACK 成績最下位チームが出走した後、整列順にてコースインが可能となる。
- ③ 各チーム約 15 秒～20 秒間隔(状況により変動あり)でアタックを開始する。車両トラブル等の止むを得ない理由により、自チームの出走順に間に合わない場合は、最後尾(出走嘆願書提出チーム同様)のスタートとなる。3rd ATTACK 最終スタート時刻の **15時20分までに**間に合うよう車両を準備し、スタート位置に整列する。
- ④ フルコースを周回した後ホームストレートに戻り、コントロールライン(タイム計測ライン)でオフィシャルによりチェッカーを受け、完走となる。
- ⑤ **3rd ATTACK の完走チームは、再車検の対象となる。オフィシャルの誘導に従い、再車検・車両保管会場となる PIT1～4 に車両を預けること。**
- ⑥ 競技中に充電側ブレーカの復帰作業を行うことができる。その際、電池の温度や固定の状態を確認しながら作業すること。また、安全であることを確認した上でブレーカのカバーを操作すること。
- ⑦ コース上で STOP した車両に対し、コースオフィシャルが走行距離認定を行う。走行距離認定を受けたドライバーは、車両をコース外へ移動させ、安全な場所に退避すること。3rd ATTACK において、走行距離認定を受けたチームは未完走とみなされる。
- ⑧ 3rd ATTACK の競技時間は **55 分間**。最終スタート時刻 **15時20分**から **25 分後の 15時45分**に競技終了となり、各監視ポストにて赤旗+赤ライトパネルが表示される。この時点でコントロールライン(タイム計測ライン)を通過していないチームは、ただちにその場に車両を停車させ、走行距離認定を受けなければならない。
- ⑨ 競技結果の集計を行った後、暫定結果表が発表される。**最終チェッカー車両の車両検査終了後、車両保管が解除**となる。車両保管場所より車両を引取ることができる。

公式通知 No.3-4/4

【KV-40】競技フロー 俯瞰図

